

音大生の性格調査

著者名(日)	加藤 経雄
雑誌名	研究紀要
巻	12
ページ	56-69
発行年	1987
URL	http://id.nii.ac.jp/1300/00000694/



音大生の性格調査

加藤 経雄

目 次

序文

第一章 向性検査（ピアノ科，声楽科の学生の比較）

- I. 検査資料の集計
- II. 検査の抜粋
- III. 4つの心理機能との組合せ
- IV. 外向性，内向性のどちらの性格が望ましいか

第二章 分裂気質と躁鬱気質の検査（ピアノ科，声楽科の学生の比較）

- I. 各科別，分裂気質の調査表
- II. 各科別，躁鬱気質の調査表
- III. 体形と気質の関係
- IV. 肥満形，瘦形の対象的な性格の一覧表
- V. 肥満形と瘦形のどちらが望ましいか

第三章 音大生の恋愛と性に関する実態調査

- I. 実態調査表
- II. 学生の性に関する感想文抜粋
- III. 総理府の性に対する調査との比較

第四章 国際的規準による大学生の人間的教養度

- I. 国際的規準による大学生の人間的教養度のテスト
- II. 音大生は合格か不合格か

第五章 悩みの調査

- I. 学生の悩みの調査表
- II. 悩みの精神構造
 - a. 何もやり度くない
 - b. 考えすぎている

- c. 悩みとは実体のない幻である
- d. 悩んでいる者は、笑いの心を忘れている
- e. 目標を以っていない
- f. どうだって、いいじゃあないか

結びの言葉

序文

6年間に亘る学生の性格調査の資料を整理分類し、音大生の性格を研究したものである。第一章はピアノ科、声楽科の学生の内向性、外向性の比較調査、第二章は同じくピアノ科、声楽科の学生の分裂気質、躁鬱気質の比較調査、第三章は音大生の性に関する実態調査、第四章は国際的基準の大学生としての人間的教養度のテスト、第五章は学生の悩みの調査である。男子学生の資料は充分でないので、この調査では見送ることにした。

第一章 向性検査

向性検査とは内向性、外向性の性格調査で、内向性とは「リビドー」が内に向っている性格であり、外向性とは「リビドー」が外に向かっている性格である。「リビドー」とは、元来フロイドの「性的エネルギー」に対する用語で、性的エネルギーの旺盛の者は、又精神力、行動力も旺盛であるので、ユング以後になると、リビドーは「精神的エネルギーの総和」と言うような意味に使われている。

I 検査資料の集計

表1 科目別内向性、外向性の調査表

調査人員 ピアノ科 1279

声楽科 549

	標準	外向性	超外向性	内向性	超内向性
ピアノ科	426 33.3%	342 26.7%	9 0.7%	491 38.3%	11 0.8%
声楽科	183 33.3%	205 37.3%	10 1.8%	145 26.4%	6 1.0%

注意 ピアノ科、声楽科の調査人員の数が相違しているのでパーセンテージを注意すること。

〔解説〕

外向性の者は、客観的な社会生活に価値をおき、内向性の者は、主観的な自己自身の精神生活に価値をおく。従って外向性の者は自己表現力が強く、容易に行動し、感情的で、群居を好

み又実力以上の自信をもち、内向性の者は自己表現力が弱く、理知的で用心深く、孤独を好み又実力以下の自信をもっている。

Ⅱ 向性検査の抜粋

	Yes	No	?
1. 意見のちがう人とでも気軽につきあえますか。	<input type="radio"/>		
2. 人から指図されるのがいやですか。		<input type="radio"/>	
3. 恨みが忘れられないですか。		<input type="radio"/>	
4. 失敗にこりますか。		<input type="radio"/>	
5. 理屈ばいですか。		<input type="radio"/>	
6. 無駄づかいが多いですか。	<input type="radio"/>		
7. 人前で平気で話せますか。	<input type="radio"/>		
8. 自分のことが他人に任せられますか。	<input type="radio"/>		
9. 他人の批判がしたいですか。		<input type="radio"/>	
10. 自分の評判が気になりますか。		<input type="radio"/>	
11. 他人の意見を素直に聞き入れますか。	<input type="radio"/>		
12. 決心を後から変えることが出来ますか。	<input type="radio"/>		
13. 議論が過激に走り易いですか。		<input type="radio"/>	
以下50問			

〔解説〕

以上の様な問いの解答を集計して以下の公式から、学生の内向性、外向性の向性指数を算出したものである。

公式

$$Vo = \frac{\text{外向点} + \frac{1}{2} \text{無応答}}{25} \times 100 = \text{向性指数}$$

向性指数とは、性格がどの程度内向性であるか、外向性であるかを示す数である。外向点とは検査の際の外向性の数であり、無応答とは、問題が自分に判断しきれぬ数である。

解答欄の Yes, No の横に○印のあるものは外向性の性格を示すもので、Yes, No を逆にすれば内向性の性格を示すことになる。内向性、外向性の性格と言っても、外向性の者は凡ての場合外向性であり、内向性の者は凡ての場合内向性であると言うのではない。どちらの数が比較的多いか、少いかで外向性、内向性の性格を算出するのである。

Ⅲ 4つの心理機能との組合せ

更に此の内向性、外向性の性格を、思考、感情、感覚、直観、の4つの心理機能と組合せると、八つのタイプの性格になる。即ち内向的思考形、感情形、感覚形、直観形と、外向的思考形、感情形、感覚形、直観形である。

〔解説〕

八つのタイプの性格の特徴を簡明に説明すると

内向的思考形の者は孤独な理想主義者で、現実を恐れて自己肯定に籠りがちである。

内向的感情形の者は愛憎好悪の念が強く、一見無情で我儘に見えるが、そうではない。

内向的感覚形の者は優れたものを味う能力があり、堪能的であるが背後に一抹の不安がある。

内向的直観形の者は自分以外のことにあまり関心がなく、礼義正しいがうちとけにくい。

外向的思考形の者は社会によく適応し、合理的で、統率力、行動力があり、ビジネスリーダー向きの性格である。

外向的感情形の者は適応性はあるが自主性がない。意識的になると感情表現がぎこちなく、女性に多いタイプである。

外向的感觉形の者は感覚的な印象に対して感受性にとむが、多少粗雑なところがある。

外向的直観形の者は絶えず変化を求め、一六勝負的なことを好む。

表2 八つのタイプの学生の性格

調査人員 ピアノ科 853
声 楽 科 366

	内 向 的				外 向 的			
	思考形	感情形	感觉形	直観形	思考形	感情形	感觉形	直観形
ピアノ科	160 18.7%	261 30.5%	83 9.7%	29 3.3%	72 8.4%	140 16.4%	66 7.7%	42 4.9%
声 楽 科	35 9.5%	70 19.1%	26 7.1%	20 5.4%	52 14.2%	90 24.5%	53 14.4%	20 5.4%

注意 ピアノ科、声楽科の調査人員の数が相違しているのでパーセンテージを注意すること。尚調査人員数が表1と異なるのは、標準形の学生の数を除外してあるためである。

IV 外向性、内向性のどちらの性格が望ましいか

どちらが望ましいかは適性の問題である。外向性の者は、外向性に適した生活態度をとることが望ましく、逆の場合は望ましくない。一般的に云えば、内向性の者は社会科学より人文科学に適し、外向性の者は研究より実践に適していると云える。超内向、超外向をのぞいて、外向性の者は統卒を要する職業、人に接する職業、共同作業などが適当であり、内向性の者は規則的な職業、機械を使う職業、単独な職業、綿密な職業などが向いている。

学習過程のピアノ科の学生の場合を考えると、綿密、単独、機械的、などと内向性の性格に適する点が多くある。此の調査では、ピアノ科の学生に、比較的内向性の者が多いことは、一応適性の問題としては望ましいことである。然し何事も本質的には各自の人間性が基盤になっているので、単純に結論づけることはかえって危険である。が然し、各自の性格に適した人生を送ることは大切なことである。単に学習過程の場合でも、各自の様々なタイプに応じた学習をすることは、学習効果に著しい影響を与える。例えば、暗符が不得手だと云っている学生が、暗符が不得手なのではなく、自分の記憶のタイプを間違えているためであったりすることがある。いくら弾いても、いくら聞いても暗符が出来ないと云う学生が、視覚形の記憶のタイプであったりする。弾いていれば暗符してしまう運動形、聞いていれば暗符してしまう聴覚形、楽符を見ていると暗符出来る視覚形などが考えられる。特に視覚形の学生は、自分の記憶のタイプを知らずに暗符に苦労している場合がある。然し実際には、視覚、聴覚、運動形の三つの中のどれかが中心の混合形であるので、自分はどれが中心の混合形かを覚えておくことは便利

である。

第二章 分裂気質と躁鬱気質の検査

ピアノ科の学生は分裂気質，声楽科の学生は躁鬱気質が多い。

I 各科別，分裂気質の調査表

表 3

調査人員 ピアノ科 1279

声 楽 科 549

	分裂気質(健康)	分裂病質(やや不健康)	分裂病
ピアノ科	787 61.5%	21 1.6%	0
声 楽 科	143 26.0%	14 2.5%	0

注意 ピアノ科，声楽科の調査人員の数が相違しているのでパーセンテージを注意すること。

〔解説〕

分裂気質の者は概して理想主義者であるが，然し現実決して理想的なものではないので，思考と現実の相克から自我が分裂する。理想的な社会を考え，理想的な学校を考え，理想的な家庭，理想的な結婚を夢みるが，現実の社会，学校，家庭，結婚とも凡て理想的なものではない。思考と現実のずれの中で，いらいらするのが分裂気質である。分裂気質は病気ではない。心理的に健康な者の一つの気質のタイプである。

分裂気質の者が病気とまではいかないが，多少不健康になると分裂病質になる。自我の統一を失って，一貫した筋のない思想が次々と現れ，外界に対して適応力を失って，自閉，孤立したり，社会性を喪失して現実の世界から遊離し，環境に無関心になったり，又現実に対して興味を失ったりする。更に悪化して分裂病になると，ものを統一体として知覚する能力を失う。

II 各科別，躁鬱気質の調査表

表 4

調査人員 ピアノ科 1279

声 楽 科 549

	躁鬱気質(健康)	躁鬱病質(やや不健康)	躁鬱病
ピアノ科	439 34.3%	32 2.5%	0
声 楽 科	374 68.1%	18 3.2%	0

注意 ピアノ科，声楽科の調査人員の数が相違しているのでパーセンテージを注意すること。

〔解説〕

躁鬱気質の者は概して現実主義者で、この程度なら人生致し方あるまいと、おっとりとかまえ、理想的ではない現実に対しても、何とか適応出来る。一般に躁と鬱が交互に現れる両極性であるが、躁の場合は、はしゃぎ過ぎたり、浪費したり、又楽観的で、自分の才能を過信し、多弁活動的で、又色情も亢進する。鬱になると、気分が晴れないと云って塞ぎ込み、人と会うのも煩^{わづ}らしい、根気がない、今迄面白かったことも面白くない、生きていても仕様がな^いなどと、だんだん落込んでゆく。オーストラリアのオトー・ワイニンガは躁の状態^で、僅か数週間で、かの有名な「男と女の性格」と云う世界的名著を書きあげたが、一年後の鬱状態^で、拳銃自殺をとげた。全く同一人と思えぬ程の性格の変化を示す。

一般には、躁と鬱の状態が交互に現れる両極性であるが、最近は単極性の鬱状態だけに落込む者が多くなっている。喪失体験などが引がねになって、鬱状態に落込む場合が多い。例えば今迄やっていた仕事や役職の変更、住み馴れた住居の引越し、人間関係の別離などが動機になって、鬱状態になる。人生は長い間に幾度かの喪失体験を経験するが、生きる心の鍛えのない者は、容易に鬱状態に落込み易い。

Ⅲ 体形と気質の関係

表5 肥満形と瘦形の判定表

身長 (cm)	男 (体重kg)					女 (体重kg)				
	やせ すぎ	やせ ぎみ	ふつ う	太り ぎみ	太り すぎ	やせ すぎ	やせ ぎみ	ふつ う	太り ぎみ	太り すぎ
150	44.8	48.2	52.3	56.7	61.0	43.8	47.3	51.5	56.2	60.7
152	45.9	49.4	53.6	58.1	62.5	44.8	48.4	52.7	57.4	62.0
154	47.1	50.6	54.9	59.5	64.0	45.8	49.4	53.9	58.7	63.4
156	48.2	51.9	56.3	61.0	65.6	46.8	50.6	55.1	60.0	64.8
158	49.4	53.2	57.6	62.5	67.2	47.8	51.7	56.3	61.3	66.3
160	50.6	54.5	59.1	64.0	68.9	48.9	52.8	57.6	62.7	67.7
162	51.9	55.8	60.5	65.6	70.6	50.0	54.0	58.9	64.1	69.3
164	53.2	57.2	62.0	67.2	72.3	51.1	55.2	60.2	65.5	70.8
166	54.5	58.6	63.5	68.9	74.1	52.3	56.5	61.5	67.0	72.4
168	55.8	60.0	65.1	70.6	75.9	53.4	57.7	62.9	68.5	74.0
170	57.2	61.5	66.7	72.3	77.8	54.6	59.0	64.3	70.0	75.7
172	58.6	63.0	68.3	74.1	79.7	55.9	60.3	65.7	71.6	77.3
174	60.0	64.6	70.0	75.9	81.7	57.1	61.7	67.2	73.2	79.1
176	61.5	66.2	71.8	77.8	83.7	58.4	63.1	68.7	74.8	80.8
178	63.0	67.8	73.5	79.7	85.7	59.7	64.5	70.2	76.5	82.7
180	64.6	69.5	75.3	81.7	87.9	61.0	65.9	71.8	78.2	84.5
182	66.2	71.2	77.2	83.7	90.0	62.4	67.4	73.4	80.0	86.4
184	67.8	72.9	79.1	85.8	92.2	63.8	68.9	75.0	81.8	88.3
186	69.5	74.7	81.0	87.9	94.5	65.2	70.4	76.7	83.6	90.3
188	71.2	76.6	83.0	90.0	96.8	66.7	72.0	78.4	85.5	92.3

表6 学生の肥満形，瘦形の統計

	肥 満 形		普 通	瘦 形	
	太り過ぎ	太りぎみ		痩せ過ぎ	痩せぎみ
ピアノ科 (1279名)	98 7.6%	120 9.3%	462 36.1%	189 14.7%	410 32.0%
声 楽 科 (549名)	35 6.3%	72 13.1%	229 41.7%	92 16.7%	130 23.6%

注意 ピアノ科，声楽科の調査人員の数が相違しているのでパーセンテージを注意すること。

〔解説〕

体形と気質の関係は絶対的のものではないが，かなり確率の高い理論である。瘦形の者は概して分裂気質，肥満形の者は概して躁鬱気質が多い。

太っているか，痩せているかは，見た目で一応判断はつくものの，別表の身長，体重の関係，皮下脂肪の厚さ，又はクレッチメルの肥満形，瘦形の特徴などを参照した。クレッチメルに依ると，瘦形の特徴は肩幅がせまく，なで肩で，細い筋肉ばらない手足をしていて，たとえ栄養がよくても痩せていて，年をとっても肥るのではなく，痩せる体形が一層きわだってくると云う。肥満形の者は筋肉組織が柔らかく，張り詰めていないで，体の輪郭全体に丸みがあり，毛髪は長くのびる素質があり，陰毛もふさふさしていると云う。

Ⅳ 肥満形，瘦形の対象的な性格の一覧表

	肥満形	瘦 形
1. 各人個有のテンポ	のろい。	早い。
2. 作業の仕方	一様でない。	一様である。
3. 疲労の現れ方	序々に現れる。	突然現れる。
4. 色と形	色が気になる。	形が気になる。
5. 把握の範囲	大きい。	小さい。
6. 注意作業	量的によく質的にわるい，総合的で全体に注意がゆきわたる。	質的によく量的にわるい，分析的で個々のものに注意が集中する。
7. 精神的緊張	すぐにほぐれる。	なかなかほぐれない。
8. 観念進行過程	考えが次々と進展する。	一つの考えに固執する。
9. 転向性	容易に転向出来る。	なかなか転向出来ない。

注 テンポ 肥満形，瘦形の二つのグループに各自金属製の棒を持たせ，自分の最も快適のテンポで机をたたかせると，肥満形のテンポの平均は10秒間に12，瘦形のテンポの平均は27である。各自が自分に最も快適なテンポを知っておくことは，自分を知ることにもなる。

Ⅴ 肥満形と瘦形のどちらが望ましいか

多少余談になるが，痩せようとしたり，太ろうとしたり，最近の女性にとっては，肥満形，

瘦形の問題は、かなり切実な問題である。痩せていた方がいいか、太っていた方がいいかに就いては、様々の立場の考え方があるが、ここでは審美的の立場から、さてどちらが美しいかを考えて見よう。「それは各人の好き好きの問題だよ」と云ってしまえばそれ迄のことだが、多小客観的、普遍性のある規準から考えると、古来日本では、仏像が最も審美的なものと考えられている。それでは、仏像は瘦形か肥満形か。

歴史的にみると、平安時代、江戸時代の仏像は瘦形で、その風潮をうけて、江戸時代は「やなぎ腰」が尊重されたが、奈良時代になると仏像は肥満形になる。肥満形と瘦形はどちらがいのでもなく、どちらが悪いのでもない。太っている者は唯痩せようとせず奈良時代の仏像の様に成れ、痩せている者は太ろうとせず江戸時代の仏像の様に成れと云うのである。

第三章 音大生の恋愛と性に関する実態調査

I 実態調査表

表 7

調査人員 1800人

1. 恋愛の経験ある者	1260人	70 %
2. 接吻の経験ある者	760人	42.2%
3. Sex の経験ある者	450人	25 %
4. 総て経験ない者	130人	7.2%

〔解説〕

恋愛を経験している者は1800人中1260人と全体の70%であるが、一概に恋愛と言ってもPuppy love 的なまだ本物になっていない恋愛、唯単に異性に対する関心程度のものと、相互に個性が確立し、相手も選択的で、誰彼と特定の相手に対する Romantic love との区別は、此の調査では確認されていない。

接吻もいわゆる新人類の「接吻なんて挨拶よ」と言う程度のものから、愛する者同志の恋愛と Sex の接点としての接吻の区別も、此の調査では不明である。

II 学生の性に関する感想文抜粋

性に関する学生の感想文をそのまま借用すると、

1. 男性は愛していない女性とでも Sex 出来ると云うのはほんとうですか、私にはその気がわかりません。私は結婚するまで処女であり度いし、その気持ちにほこりをもっています。
3. 遊んでいる男はいやですが、童貞の男と云うのは何かいくじない様な気がします。
4. 女性と云うのは、処女を捧さげた異性を一生忘れられないと聞いているので、生涯思い

出しても、悔いの無い相手に自分の最初のをあげたいと思っています。

5. 自分でも驚いてしまう程、時には幼な子のように素直で可愛い女の子、時には20才の普通の学生としての女性、そして時には娼婦の如く男を飲ばせる女に、どれがほんとうの自分なのかわからないのです。それが私のことなのです。このままですて行くと精神異常者になりそうです。

Ⅲ 総理府の性に対する実態調査との比較

表8 総理府の性に対する実態調査
(4990人20才前後の女子のアンケート調査)

1. 接吻の経験	50	%弱
2. ペッティングの経験	50	%強
3. Sex の経験	46.8	%

接吻の場合は総理府の調査が50% 弱に対し学生の場合は42.2%, Sex の場合総理府の調査が46.8% に対し学生の場合は25.0%と、接吻 Sex 共に一般人の調査よりかなり下廻っている。

第四章 国際的基準の大学生の人間の教養度

I 国際的基準の大学生の人間の教養度のテスト

国際的基準の立場から、大学生であれば、此の程度の教養がなければならぬとの、11項目からなるテストであるが、音大生の性格が、はたして此のテストに合格か不合格かを調査したものである。

テストは11項目に分れ、各五段階の評価である。1. 個性的魅力。2. 感情のコントロール。3. 社会的適応能力。4. 他人に対する態度。5. 問題解決の能力。6. 先見の才と勤勉度。7. 信頼度。8. 統率力。9. 他人に対するサービス。10. 話し方と声。11. 健康度。の11項目である(次頁参照)。

Ⅱ 音大生は合格か不合格か

表9 音大生の得点表 調査人員 1820名

55-50	50-45	45-33	33-25	25-20	20-15	15-10
23人	590人	640人	58人	36人	3人	
平均得点 41点合格						

各項目とも優秀が5点で不可が1点で総計55点が満点。33点以上が合格、33点以下が不合格である。

表10 Personal Rating Test

	優 秀(5)	平均以上(4)	平 均(3)	平均以下(2)	不 可(1)
1. 個性的魅力	非常に魅力がある	人づきのする容貌	まあまあの容貌	人の気をひかぬ容貌	不快な容貌
2. 感情のControl	非常によく情緒が安定している	容易に自分で情緒がControl出来る	まあ大体情緒がControl されている	感情的	情緒不安定
3. 社会的適応能力	いつも皆と一緒に気楽な気持ちでいられる	大体皆と一緒に気楽な気持ちでいられる	興味のある時には皆と一緒に気楽な気持ちでいられる	皆と一緒にだと気楽な気持ちでいられない	皆と一緒にいられない
4. 他人に対する態度	いつも機嫌がよくて協力的で気転がきく	まあ大体機嫌がよく協力的	時には機嫌がよく協力的	興味がある時だけ機嫌がよく協力的	不機嫌で気転がきかず非協力的
5. 精神的能力	難問でも解決出来る	まあ大体難問でも解決出来る	誰もが遭遇する社会の難問なら解決出来る	殆んどの問題を解決するのをむづかしいと考える	頭をつかうのはいやだ
6. 先見の才と勤勉度	まあ大体課せられた仕事以上をやる	多くの場合課せられた仕事以上をやる	注意深く課せられた仕事をやる	やれやれと云われなければ課せられた仕事をやりとげぬ	課せられた仕事をやりとげるのはまだ
7. 信頼度	いつもまかしておける	ほとんどの場合まかしておける	すきなことだتماかしておける	殆んどの場合まかしておけない	まかしておけない
8. 統率力	非常に有能なリーダー	いいリーダー	グループ活動で興味のある場合はいいリーダー	へたなリーダー	責任のある統率は出来ない
9. 他人へのService	他人を助ける機会に非常に敏感	自分に都合がわるくても他人を助ける	グループ活動では他人を助ける	自分に都合のわるい時は他人を助けぬ	自分に利益になるときだけ他人を助ける
10. 話し方と声	非常にすばらしい声で話し方もすばらしい	気持のいい声で話し方も上手	まあまあの声でいい話し振り	不快な声でまづい話し方	不快な声で話し方に一定の欠かんがある
11. 健 康	病気になるのはまれ	たまに病気になる	年に数回病気になる	しばしば病気する	まん性病

第五章 悩みの調査

I 学生の悩みの調査表

表11

調査人員 1800名

悩みの種類		
1. 哲学的悩	225	12.5%
2. 研究に関する悩	280	15.5%
3. 人間関係の悩	720	40.0%
4. 恋愛Sexに関する悩	235	13.0%
5. 体に関する悩	52	2.8%
6. 個人的事情の悩	132	7.3%
7. 悩みはない	138	7.6%

II 悩みの精神構造

a 何もやり度くない。

学生の手記。

1. 「勉強する意欲が全く出ず、困っています。狭い部屋に一人閉じ込めり、毎日何もせず暮しています。精神安定剤を飲んでみましたが気が明るくならず、あしたこそ頑張ろうと思いつながら、あしたになると又あしたと思うのです。」
2. 「彼と死別して以来、私は悩みつづけています。愛しあっていたが永久にもう二度と会えない私達の宿命的悩みは、どうしたらいいのでしょうか。毎日弾いていたピアノも、てんでさわる気もせず、部屋に閉じ込めり、唯々悩むばかりです。もう駄目です。」

以上二つの手記の共通点は「何もやり度くない」と云う心である。疲れていると、何もやる気はないが、休めば又何かやり度くなる。悩んでいる時は、いくら休んでも何もやり度くない。休むとかえって、くよくよと落ち込んでいく。疲労は行為の一時停止であるが、悩みは行為の永久停止である。

悩みは坂を下ってゆくようなもので、下るに従って視野が狭くなり、ついには悩み以外の何も見えなくなる。更に悩みつづけると、脳のアドレナリンの分泌が減退して、生理的にも又全く何もやる気のない人間になる。健康の精神構造とは、何かやらないではいられないものである。

悩みごとがあると、押入れの中に入って寝てしまう者がいたが、閉じ込めてはいけない。何かをやることで、行動から道が開けてゆく。行動と欲求と思考のバランスがとれているのが、健康の精神構造であるが、悩んでいる時の心には、行動と意欲が欠けて思考ばかりになっている。先づ何かをやって、意欲を引き立て、精神構造のバランスを回復することである。健康の

場合は意慾が行動を決定するが、悩んでいる場合は行動が意慾を決定する。

b 考えすぎている。

学生の手記。

「私はとても悩んでいます。何んのために生きているのか、何んのためにピアノを弾いているのか、何故大学に行かねばならないのか、そんなことを考えてポーッとしています。楽しくなくて、生きていること自体がいやなのです。人と接し度くない、自分も嫌いだ、死んでしまいたいと思っています。恋でもすれば、こんな気持ふっ飛んでしまうかと思い、幸い私を好きだと云ってくれる男の子がいたのでデートしたのですが、全々面白くないのです。かえって疲れるばかりです。」

何んのために生きているのか？本質的にはそんなこと誰にも解らない。解っているのは唯こうして生きていると云うことだ。或る哲学者が「考えることは蝕まれることだ」と云ったが、不要に唯考え返んでいくと身動きが出来なくなる。

丁度蝶が蜘蛛の巣にかかった様に、^{くも}腕がけば^も腕がく程身動きが出来なくなる。

考え込んで悩みごとを自分勝手に過大視するのをヒコボンテリー性の性格と云うが、考え込むと、僅かの悩みが段々大きくなって、思考だけが先走って、ふと気付くと、自分に何んの関係もないことなどを悩んでいる。唯考え込むことは時に人間を委縮させる。

c 悩みとは実体のない^{まぼろし}幻である。

悩んでいる者は主観的感情に捕われて、唯自分だけの悩みしか考えられなくなっている。自分の悩みを絶対化しているのである。元来悩みとは比較的のもので、考え方の水準によって変わってゆくもので、丁度、灰色を白に変えることが出来るように、灰色と思っても更に濃い灰色をもってくれば灰色が白くなる。悩みも亦更に深い悩みをもつて来れば、今の悩みは悩みでなくなる。悩みとは実体のない^{まぼろし}幻の様なもので、考え様によっては影の様に消えてゆく。

d 悩んでいる者は、笑いの心を忘れている。

思いつめて憂鬱になっている者は、不幸に敏感になって、明るいものが見えなくなっている。「自殺する時、人は人生の^{かいぎやく}諧謔や^{こつけい}滑稽の意味を忘れている」と哲学者ショペンハワーが自殺論の中で述べているが、悩みの精神構造には笑う心が失われている。笑えと云っても笑可しくなければ笑えないが、笑う心は失うまい。

人間は生れて一週間目の乳児に既でに笑いの表情の原形が現れているが、笑いは人間にのみ与えられた次元の高い心の現れである。人間も動物も黙って唯向いあっていると、敵対意識をもつようになるが、犬はこの自然の衝動のまま出会うと直ぐその場で咬みつぎ合って畜生になる。犬より多少賢い猿になると出会うことを極力さけて、御互横へ逸れてしまう。人間は笑いの心で「御早う御座います」と云って、先づ敵対意識をほぐして、人間社会をつくっているの

である。笑いの心を忘れると人間も又出会うと咬みつく畜生になる。神戸の繁華街で女性を刺殺した犯人が、警察の取調べに対し、「人の顔をじろじろ見やがって、頭に来た」と云う。

笑いは感情の緊張をほぐすと共に、理由のない不安や、無駄な悩みを解消する。笑いは人生の先在的悲劇性をも克服する力がある。笑いを忘れると人は不要に緊張し、不安になったり、苦しんだり、残酷のまねをする。

e 目標を以っていない。

悩んでいる者の心には目標がない。一つの目標を達成したら、更に又次の新しい目標を持つ。絶えず目標に向って、前を見て歩こう。後ろを見て歩くことは不自然である。

悩む者が目標を掲げて、勇気と希望を持って生きることを「生きがい療法」と云う。7人のガン患者が生きがいを持つことで、ガン患者の心境を克服しようと、アルプスの最高峰モンブランの登頂をめざした。

例え限られた人生であろうと、生きている限り、おめおめすまいと云うのである。究極的には誰も限られた人生で、唯何時の日、その日が来るかを知らぬだけである。

生きている限り目標に向って、勇気と希望を以って前へ歩こう。死んだら自然に帰ればいい。新井白石は余命2日の人生をつけられると、「まだ2日あるなら習字をしよう。」と云ったと云う。白石の書道には人生を感じさせる。

f どうだって、いいじゃあないか。

「どうだって、いいじゃあないか」と考えよう。どうしなければならぬなどと考えまい。「かくある可し」との固定観念を、道元禅師は「悪知」と云っている。不条理は人間存在のための不可欠の条件で、人生の宿命的な所与なのである。

日常の生活でも、我々は生命を尊べと云いながら牛を殺して食べ、愛鳥と云いながらも焼鳥屋は繁盛し、平和を論じて論争している。理念と現実の狭間の不条理の中に生きるのを人生と云う。生命を尊べと云う理念を絶対に固守すれば、究極的には生命そのものの破壊となる。

人生そのものが二律背反的構造である限り、それを認める以外にすべはない。二律背反を解決しようとすれば、二律の中の一方を捨てるか、取るかであるが、それは構造そのものの破壊になる。人間は不条理であることが自然であり、又其の不条理が動きを作り、生きていると云うことなのである。現象的にはどうしなければならぬと云うことも、本質的にはどうだっていいじゃあないかと云うことで、人生の二律反背をそのまま丸のみに受け入れる心構えが、心の奥底にないと、人間は小さく固まる。

結びの言葉

統計的な調査と云うものは、ややもすると味気ないもので、面白くも笑可しくもないものに成り勝ちだが、研究者自身にとっては、何が出てくるかの興味はある。

以上のデーターからの結論を概括すると、ピアノ科の学生は比較的理想主義者が多く、従って分裂気質で、声楽科の学生は現実主義者が多く、従って躁鬱気質の者が多い。又国際的基準による大学生としての教養度のテストは、音大生は平均的には合格点である。又恋愛と性の実態調査や、学生の悩みの問題は、一応資料の統計はしたもの、学生自身の記述によって、直接学生の心理にふれてみたりした。

今回の調査は、何分にも資料不足で研究も甚だ不十分ではあるが、今後のこった資料を更に整理して、より確率の高いものに仕上げてゆき度い。(本学講師＝心理学担当)